

「今後の図書館サービスのあり方検討会」の設置について

区立図書館整備のあり方については、新しい中野をつくる10か年計画（第3次）、中野区教育ビジョン（第3次）等で方向性が示されており、これらを踏まえ、昨年度、「新図書館及び地域開放型学校図書館等運営計画」について検討を行った。

この検討において、滞在型利用ニーズへの対応や学校図書館の機能充実など、今後の図書館運営の全体的な考え方に及ぶ新たな取組が示された。

これらの内容を踏まえ、今後の図書館サービスのあり方について考え方や方向性を検討するため検討会を設置する。

1. 検討すべき課題

- (1) 滞在型利用等新たな利用者ニーズへの対応
- (2) ICTの進展等社会環境の変化への適応
- (3) 学校図書館の機能充実と地域開放
- (4) 図書館サービス網のあり方

2. 検討会の構成等

- (1) 地域団体・図書館関係者等

地域活動団体	1名
子ども・子育て関係	2名
高齢者団体	1名
障害者団体	1名
図書館ボランティア等活動者	1名
区立図書館指定管理者	1名
区立小・中学校長	各1名

- (2) 公募区民

2名

- (3) コーディネーター

2名（公共図書館・学校図書館研究者）

- (4) 事務局

教育委員会事務局子ども・教育政策課

3. 検討スケジュール

令和元年

7月20日 区報（委員募集）

8月～11月 検討会（4回程度）

12月 議会報告（検討結果のまとめ）

令和2年

1月 区民意見聴取